シリーズひと

何度やられても立ち上がる。

千葉県に拠点を置く、千葉密着・発信型プロレス団体『2AW（ツーエーダブリュー）』でプロレスラーとして活躍する、分水地区出身の仁木琢郎さん。これまで数々のタイトルを獲得してきた仁木さんに、プロレスとの出会いや今後の抱負などを伺いました。

仁木（にき） 琢郎（たくろう）さん（分水地区出身）

●千葉密着・発信型プロレス 2AW 所属

「中学生の頃、仲の良い先輩とプロレスのカードゲームに熱中したことがプロレスとの出会いです。その後、新日本プロレスの番組を視聴するようになり、より興味が湧きました」と語る仁木さん。実際にプロレスラーとして活躍するなかで感じたプロレスの魅力を伺いました。

「自由な戦いがあることです。飛んだり、リングの外に出たりと、型にはまらない、自由なところが好きです」

昨年末に開催された『2AW無差別級選手権試合』では、見事、チャンピオンベルトの防衛に成功しました。

「決勝の相手は一カ月前の試合で敗れた選手。選手権試合までの間、悔しい思いをしてきました。ただ、自分の強みはやられても立ち上がるところです。試合では何度やられてもファンの声援を力に立ち上がりました」

この言葉のとおり、その諦めない姿勢はファンを魅了し続けています。

数々の名勝負を繰り広げてきた仁木さん。競技を通じて得たものを伺うと『自信』と答えました。

「この仕事を通じて、自分に自信が持てるようになりました。ファンの皆さんに自分のプロレスで勇気を与えることができると気づいてから、自信を持って皆さんの前に立っています」

最後に、今後の抱負を伺いました。

「燕市の英雄になるため、精一杯、プロレスを頑張ります。そして、燕市で凱旋（がいせん）試合をする時には、たくさんの人に見てもらえるよう、日々努力していきます！」

▶昨年末に開催された、『2AW無差別級選手権試合』でベルト防衛に成功した仁木さん。

◀こちらは有料広告です。

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。

広報つばめ Tsubame 2026 2
発行/燕市
編集・企画/広報秘書課 広報広聴係
〒959-0295 燕市吉田西太田1934
☎0256-92-1111 FAX0256-92-2112
koho@city.tsubame.lg.jp
https://www.city.tsubame.niigata.jp/
「声の広報つばめ」：広報つばめを音声にしたものを、燕市公式ホームページで聞くことができます（ダウンロードも可）。